



新型コロナウイルスの感染は収まる気配はなく、第8波が押し寄せてきているそうです。新型コロナについて、『この冬はワクチン接種、抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の準備を』…と厚生労働省からお知らせが出ています。合わせて小学生以下のお子さんについて、『のどの痛み、発熱などの症状が出たら、速やかにかかりつけ医や地域の小児科にご相談ください。受診に迷った場合や夜間または休日の場合は電話相談窓口をご利用ください。』とのこと。

- ★ 救急車利用マニュアルやこどもの救急など関係 Web サイトを参照してください
- ★ 救急要請相談（#7119）やこども医療相談（#8000）などで電話相談をしてください



せきの応急手当て

せきがひどい、止まらないときは、病気のサインかもしれません。よく観察し、対処しましょう。

1 背中をさすって、呼吸を楽にする

せき込むときは、縦抱きにするか、上半身を起こして背中を軽くトントンたたくと、呼吸が楽になります。

0、1、2歳児は大人が縦抱きに、大きな子は上半身を起こします



2 部屋を加湿する

乾いたせきが出るときは、室内を加湿しましょう。湿度は50～60%くらいが目安。冬なら加湿器を、夏なら弱めの冷房をかけて。

冬は洗濯物を干したり、カーテンに霧吹きしたりするのも効果的!



3 水分を補給する

水分をとると、たんが切れてせきが楽になります。何回にも分けて、少しずつ水分を飲ませてあげましょう。

水分は常温のさゆや麦茶などがお勧めです



➡ こんなときは病院へ



- 高熱がある
- ゼーゼー、ヒューヒューという呼吸音がある
- おう吐する
- 顔色が悪い、ぐったりしている
- のどに異物がある
- 首の痛みを訴える

こんなときは救急車を!

- 肩を大きく上下させて呼吸する
- みぞおちや鎖骨辺りがへこんでいる
- 唇やつめの色が紫色になっている
- 呼吸が荒く、顔や手足を触ると冷たい

1つでも当てはまれば呼吸困難のサイン。救急車を呼びましょう。

